

**【用語説明】**

**アルファベット順**

ACP (Advance Care Planning)	将来起こりうる病状の変化に備えて、医療従事者や患者さんと家族とともに、患者さんの医療上の希望、生命維持治療に対する意向、医療に関する代理意思決定者の選定などを行うプロセスのこと。 厚生労働省による愛称は「人生会議」
AST (Antimicrobial Stewardship Team)	感染症への治療効果を高め、耐性菌の出現を抑えるために、抗菌薬の適正使用に向けて支援するチームのこと
ICT (Infection Control Team)	院内で起こるさまざまな感染症から患者・家族、職員の安全を守るために活動を行うチームのこと
IMRT (強度変調放射線治療)	放射線の照射中に、照射野内の放射線の強さに強弱をつけ、腫瘍に対して集中的に照射を行うことができる方法のこと
ITガバナンス	ITを効率的かつ安全に活用していくメカニズムを組織内に構築すること
t-PA (tissue-Plasminogen Activator)	血管を詰まらせている血栓（血の固まり）を溶かし、血流を再開することで脳の働きを取り戻すようにする血栓溶解療法のこと

**あいうえお順**

医療情報システム	医療機関等のレセプト作成用コンピュータ（レセコン）、電子カルテ、オーダリングシステム等の医療事務や診療を支援するシステムだけでなく、何らかの形で患者さんの情報を保有するコンピュータのこと
インシデント	医療事故に至る前に気付いたこと。患者さんに障害の発生しなかった事例のみならず障害の発生した事例、過失の見られるものや不可抗力、また、結果だけでなくプロセスの問題も含まれる。
インフォームド コンセント	患者が医師等から十分な説明（目的、内容、予想される結果、危険性など）を受け、理解・納得し、同意の上で治療を受けること。

開放型病床	診療所から紹介された入院患者さんを、病院の医師と診療所の医師と一緒に診察を行うことのできる病床のこと
患者経験価値	「患者が医療サービスを受ける中で経験する全ての事象」のこと。 入院や外来などの各プロセスで患者が受けた医療サービスの「経験」を測定し、サービスの実態を可視化して、具体的な強みや課題が把握できる。
冠動脈インターベンション	冠動脈狭窄性病変に対してカテーテルを用いて拡張を行う治療のこと
カンファレンス	医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師及び医療ソーシャルワーカーなどの専門職が分野の枠組みなどを乗り越え、チームで一人の患者さんに対してベストな支援方法を話し合い、検討すること
緩和ケア	生命を脅かす疾患による問題に直面する患者さんとその家族に対して、痛みやその他の身体的、心理的、社会的な問題、さらにスピリチュアル（宗教的、哲学的なところや精神、霊魂、魂）な問題を早期に発見し、的確な評価と処置を行うことによって、苦痛を予防したり和らげたりすることで、QOL（人生の質、生活の質）を改善する行為のこと
救急ワークステーション	医療機関と消防機関が連携し、救急要請に対して救急隊員とともに、必要に応じ、医師が同乗して現場に出場するなどの方法により、病院内での救急隊員の知識、技術の向上を目的とした教育の拠点のこと
救命救急センター	救急指定病院のうち急性心筋梗塞、脳卒中、心肺停止、多発外傷、重傷頭部外傷など、複数診療科領域の命に係わる重症な患者さんに対し高度な医療技術を提供する救急医療機関のこと
クリニカルパス	医師、看護師、その他医療スタッフが、共同して実践する治療、検査、看護、処置、指導などの標準的な治療行動計画の流れを示すもののこと
ゲノム	遺伝情報の全体・総体のこと
健康寿命	介護や人の助けを借りずに起床、衣類の着脱、食事、入浴など普段の生活の動作が1人ででき、健康的な日常が送ることができる期間のこと

公立病院経営強化プラン	持続可能な地域医療提供体制を確保するために、医療確保等を進めつつ、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を最も重視し、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、公立病院の経営を強化していくプランのこと
個別化治療	患者さんの体質や病気に関連している遺伝子をより細かく調べた上で、個々の患者さんの体質や病気のタイプに合わせて治療を行うこと
災害拠点病院	大規模災害における医療確保を目的として、重症、重篤な傷病者を受け入れるなど、災害時の医療救護活動において中心的な役割を担う病院のこと。厚生労働省の基準で、原則として二次医療圏ごとに1カ所指定される。救命医療を行うための高度診療機能、被災地からの重症傷病者の受け入れ機能、医療救護班の派遣機能などが求められる。
堺市こども急病診療センター	堺市救急医療事業団が運営する夜間・休日の急な子どもの内科系疾患に対して外来診療を行う診療施設のこと
堺市地域防災計画	災害対策基本法第42条（市町村地域防災計画）及び南海トラフ地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法（平成14年法律第92号）第6条（推進計画）の規定に基づき、堺市防災会議が策定する計画のこと
三次救急医療	救命救急センターや高度救命救急センターで対応する重篤な疾患や多発外傷に対する医療のこと
産後ケア	出産後の母子の心と身体の回復を促し、安心して子育てできるようにサポートすること
産褥精神障害	子供を産んでから3日頃から10日頃まで発症する可能性のあるマタニティブルーや、マタニティブルーが治らずに精神的に病んだ状態が長い間続く産後うつ病のこと
シームレス	外来、入院、在宅医療などの間の垣根をなくし、患者さんがそれぞれを相互に移動・利用しやすくした医療のこと
支持療法	がんそのものに伴う症状や、治療による副作用・合併症・後遺症による症状を軽くするための予防、治療、およびケアのこと
疾病構造	国民全体のなかでの疾病の種類と量的な存在の関係のこと
疾病予防	予防接種や不衛生な環境を改善することによる感染症予防のこと

集学的治療	がんに対し、より高い治療効果を得るため、外科療法（手術）、化学療法（抗がん剤）、放射線療法、免疫療法等から二つ以上の治療方法を組み合わせて行う治療のこと
周産期医療	妊娠満 22 週から出生児満 7 日未満までを周産期といい、この時期は母子とも異常が発生しやすく、突発的な緊急事態に備えて、産科、小児科双方から一貫した総合的な医療体制が必要であることから、特に周産期医療と表現される。
修正医業収支比率	医業収益（医療サービスを提供して得られる収益。入院収益、外来収益、その他医業収益）と、それにかかる医業費用の割合のこと
新興感染症	最近になって新しく出現し、公衆衛生上の問題となりうる感染症の総称のこと。ただし、既知の感染症で再び流行し始めた感染症（再興感染症）を含む。
セカンドオピニオン	患者さんがより納得のいく治療を受けるため、診断結果や治療方針、方法等について、主治医以外の医師から意見を聞くこと
セキュリティポリシー	組織のセキュリティを向上させるために、ルールや規定を設けること
認定看護師	日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有すると認められた看護師のこと
第一種、第二種感染症指定医療機関	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」において定められた、一類感染症又は二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院のこと
タスクシフティング	他者あるいは他職種に業務そのものを移管、委譲すること
地域医療構想	将来人口推計をもとに 2025 年に必要となる病床数を 4 つの医療機能ごとに推計した上で、地域の医療関係者の協議を通じて病床の機能分化と連携を進め、効率的な医療提供体制を実現する取り組みのこと
地域医療支援病院	地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関の連携等を図る観点から、かかりつけ医等を支援する医療機関のこと。紹介患者さんに対する診療機能や実績等により都道府県が承認する。

地域完結型医療	地域の中で、それぞれの病院や診療所、クリニック等が、その特長を活かしながら役割を分担し、地域の医療機関全体で1つの病院のような機能を持ち、切れ目の無い医療を提供していこうというもののこと
地域がん診療連携拠点病院	専門的ながん医療の提供、地域のがん診療の連携協力体制の整備、患者・住民への相談支援や情報提供などの役割を担う病院として、国が定める指定要件を踏まえて都道府県知事が推薦したものについて、厚生労働大臣が適当と認め、指定した病院のこと
地域包括ケアシステム	団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が切れ目なく一体的に提供される体制のこと
地域連携パス	地域で医療・介護に関わる人々がそれぞれの役割分担を行い、情報共有をすることにより、今後の診療の目標や注意点を明確にし、チームで患者さんを支えていくための仕組みのこと
治験	治療試験の略のこと。新薬の効果を確かめたり、既存の薬剤の効果と副作用の追跡調査をしたりするため、患者さんや健康な人に服用してもらい試す臨床試験のうち、特に製薬会社で開発中の医薬品や医療機器を患者さんや健康な人に使用してもらい、データを収集して有効性、副作用や安全性を確認する試験をいう。治験は国の基準を満たした医療機関で行われる。
地方公営企業繰出金	一般会計等が、地方公営企業の経費の一部を負担するための出資、長期貸付け、負担金等のこと
チーム医療	医療技術の進歩と高度医療の普及、患者さん中心の医療に対するニーズの高まりなどを背景に、医師、薬剤師、看護師などの各医療職の協力によるチームで行う医療のこと
デジタル化	これまでアナログで行っていた業務に、デジタル技術を導入すること

特定健診	日本人の死亡原因の約6割を占める生活習慣病の予防のために、40歳から74歳までの公的医療保険加入者を対象に、保健指導の対象となるかどうかを判断しメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）該当者及び予備軍を減少させることを目的として実施される健康診査のこと
トリアージ	多くの傷病者らが居る状況において、傷病の緊急度や重症度に応じた優先度を定めること
二次救急医療	入院や手術を要する症例に対する救急医療のこと いくつかの病院が当番日を決めて救急医療を行う病院群輪番制や、共同利用型病院方式がある。
パンデミック	感染症や伝染病が、全世界的に急激に広まる状態のこと
ピアサポート	同じ苦しみや生きづらさを抱える当事者や経験者が互いを支え合う活動のこと
病院前救護活動	救急医療の一環として、病院に到達する前に患者に対して行われる医療行為や応急手当のこと
病病・病診連携	それぞれの医療機関の機能に応じて役割を分担し（機能分化）、患者さんの状態に応じて医療機関同士が協力（連携）すること
フレイル	健康な状態と要介護の状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと
メディカルコントロール	傷病者を救急現場から医療機関へ搬送する間に救急救命士が実施する医行為に対して、医師の指示または指導・助言および検証することにより、それらの医行為の質を保証すること
免疫療法	免疫とは、体の中に侵入した異物を排除するための能力で、これを高めて行う治療のこと
臨床研究	人を対象として行われる「医学系研究」のこと 医学系研究は、生命科学研究や基礎医学研究から、治験までの広範囲に及ぶ
ロコモティブシンドローム	運動器の障害のために立ったり歩いたりするための身体能力（移動機能）が低下した状態のこと